

稼げる後継者の育成を目指して！
JA たまな横島イチゴ部会青年部現地検討会開催

横島地域は、イチゴの栽培面積が管内最大であり、後継者も多く、活気のある地域です。そこで、稼げる後継者の育成を目指して、8月27日にJA たまな横島イチゴ部会青年部の現地検討会が開催されました。

イチゴ栽培において、育苗期はその後の収量を左右する重要な時期です。今回現地を巡回したほ場は概ね県の基準通りでしたが、一部のほ場では育苗管理の遅れがみられ、「適期採苗」の課題が明らかとなりました。

このため、検討会では適期採苗による次年度の収量の安定化を図るため、育苗の方法や採苗スケジュールの見直しについての意見交換により、次年度産に向けた意識の統一が行われました。

当支部では、JA たまなや農業革新支援センター、農研センターと連携したタイムリーな情報提供や技術指導を通して、引き続き産地の将来を担う後継者の更なる栽培技術の向上を支援していきます。



育苗ほの様子